

「熱い心」 ～日本一熱く、絆強き学校への道～



学校文化を創る！ ～生徒集会・「あいさつ」について～

「あいさつ」について考える時間が今こそ必要だと、生徒会主催の生徒集会が開かれた。日常の何気ない場面でのあいさつについて、自分たちが課題だととらえている姿をショート劇で具体的に伝え、**問題提起**していたね。その後生徒会長からは、**前期生徒会の柱である「あいさつ」**を大切にしたい、しっかりこだわっていきたいという熱い思いが語られた。まさに一中がこれまで築こうとしてきた「**仲間同士で先手挨拶が飛びかう**」あいさつが自慢の学校、地域の方にも当たり前前に先手挨拶する



「地域に誇れる学校」を創っていこうという思いだね。こうやって代々の先輩たちの「**熱い心**」と、**伝統や校風を受け継いで進化させていく**ことを、**「学校文化を創る」**というんだ。その根底にあるのは、もちろん「**班を基盤とした一人も取りこぼさない絆づくり**」。日本一への道に挑むからには、**停滞は後退と同じ！進化し続けてこそ伝統を創ることができる！**…が鉄則。さあ、196人で進化し続けていこう。**熱い心で、自分たちの力で、学校文化を創れ！**



信は力ない！～信じるとは、相手への期待ではなく、自分への決意だ！～

「なぜ挨拶をするのか」「あいさつ運動をなぜやるのか」という根っこをきっちり持つことはとても重要。そして、もう一方で大切なことは「**あいさつ**」をまずはやってみることに、**続けていくこと**。理屈じゃなく、やり続けていると「**感覚的に**」その空間の居心地の良さ、心の中の豊かさを実感できるようになる。続けていると、あるときフツと、**自分の中の何かに変化していることに気づく**ことがある。これもまた「あいさつ」の持つ大きな力。今日、君は「あいさつ」で何かを実感できましたか？「あいさつ」で自分の中に何か変化はありましたか？

研究授業！

市教研研究授業が行われ、1年2組ではALTとの英語、2年1組では各班が順番に授業者になって教える数学、2年2組ではタブレットを活用した社会の様子を披露。一中生の素晴らしさを称賛する声を多くいただいたよ。さあ、もっともっと学ぶ姿を進化させていこう。



先生たちも授業力を高めるため、一生懸命勉強です。

